

保証書

品名	ビルトインIHコンロ
型式	
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売店名住所	

※必ず各欄をご記入ください。

- 故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。
- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - 誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
 - 落下・火災・地震など天災地変による故障。
 - 消耗部品（フィルター・冷却用ファンモーター）の交換。
 - 保証書のないもの。
 - 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
 - 保証書は紛失されても再発行いたしません。
 - 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
 - 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション
〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東京／TEL 03 (5833) 9968 大阪／TEL 06 (6788) 2251
名古屋／TEL 0594 (32) 1130 福岡／TEL 092 (474) 1312

CHUBU ビルトインIHコンロ 取扱説明書

型式

DR-1 BMA
DR09SAA
DR18SAA

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	4
鍋（使える鍋・使えない鍋）	5
ご使用上の注意	6
ご使用方法	7
お手入れ	8
故障の見分け方と処置方法	9
仕様	10
保証書・アフターサービスについて	巻末

- ・このたびは、ビルトインIHコンロをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- ・この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- ・お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



電源は専用コンセントを使用すること (交流 200V・定格15A 以上を使用)

タコ足配線ではコンセント部が発熱するため発火の原因になります。



専用電源

異常時は、入/切 ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

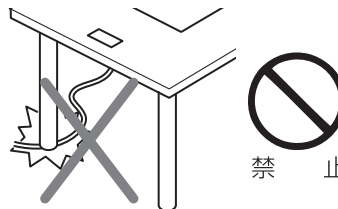
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

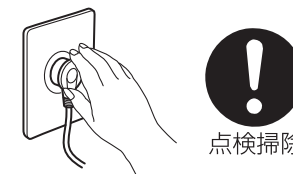
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。＊熱器具にコードを近づけないでください。



禁止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源ボタンを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

仕様

品 名		ビルトインIHコンロ	
電 源		単相 200V 50/60Hz	
型 式		DR18SAA	DR-1BMA / DR09SAA
定 格 消 費 電 力		1,800W	1,400W / 900W
質 量 (重 量)		4 kg	1.9 kg
外 形 寸 法 (幅×奥行×高さ)	本 体	320×320×90mm	210×210×82.5mm
	コントローラー	150×31×67mm	
コ ー ド の 長 さ		電源コード 2.0m	接続コード 1.0m
付 属 品		取扱説明書・コントローラー固定用皿ネジ/木ネジ・パッキン・ コントローラー取付ブラケット・コントローラー取付ブラケット固定用ネジ	

故障の見分け方と処置方法



警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと
(お手入れ作業は除く)

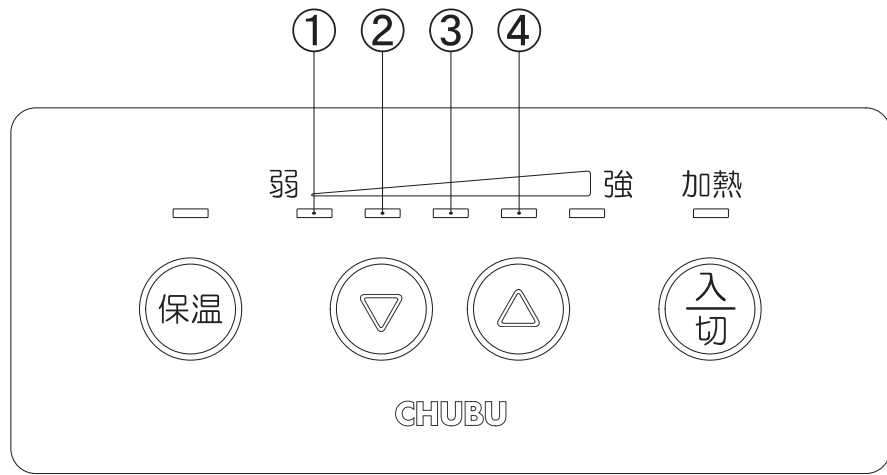
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

●故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。



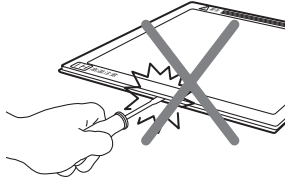
症状	原因	処置方法
ボタンを押しても反応がない	・電源プラグが抜けている。	・コンセントに差し込んでください。
	・漏電遮断機が OFF になっている。	・漏電遮断機を ON にしてください。
	・ヒューズが切れている。	・漏電遮断機を OFF にして、販売店に連絡してください。
加熱ランプが点灯せず加熱しない	・使えない鍋を使用している。	・使える鍋を使用してください。(P.5 参照)
	・鍋がトッププレートの中心に置いていません。	・鍋をトッププレートの中心に置いてください。
火力「①」ランプが点滅して機器が停止した (ブザー音:ピー、ピッ×2回)	・トッププレートの温度センサーに異常が発生しています。	・漏電遮断機を OFF にして、販売店に連絡してください。
火力「②」ランプが点滅して機器が停止した (ブザー音:ピー、ピッ×4回)	・電源電圧が高くなっています。 ・電源電圧が低くなっています。	・正しい電源を使用してください。 ・「入/切」スイッチを押すとエラー解除します。
火力「③」ランプが点滅して機器が停止した (ブザー音:ピッ×18回、ピー)	・トッププレートが高温になっています。	・トッププレートから鍋を外し、暫く待ってからご使用ください。 ・「入/切」スイッチを押すとエラー解除します。
火力「④」ランプが点滅して機器が停止した (ブザー音:ピー、ピッ×7回)	・機器内部の電子部品が冷却不足となっています。	・周囲が 35℃ 以下の環境で使用してください。 ・吸気口、排気口の洗浄をしてください。(P.8 参照) ・フィルターを掃除してください。(DR18SAA のみ対象) ・「入/切」スイッチを押すとエラー解除します。



警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと

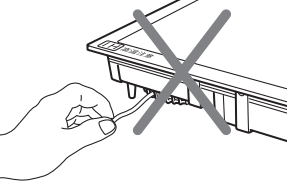
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

吸・排気口やすきまなどに金属物等の異物を入れないこと

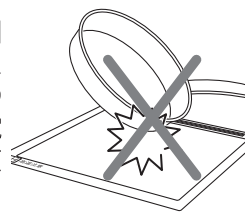
感電や異常動作をして、ケガの原因になります。



禁止

トッププレートに衝撃を加えないこと

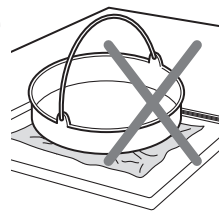
トッププレートに強い衝撃を加えると割れます。ひびが入ったり割れると、異常動作や感電の原因になるのでだちに、電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。



禁止

鍋の底に物を敷いて運転しないこと

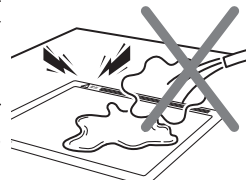
鍋の底に紙や布などの物を敷くと鍋の熱で焦がすことがあります。
※製品が壊れる可能性もあります。



禁止

水・油等の液体に浸けたり、かけないこと

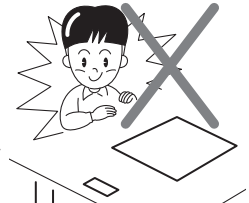
感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。
※ふきこぼれ等の場合は電源を切り、拭き取ってください。



禁止

取扱に不慣れな方や子供だけで使用させないこと

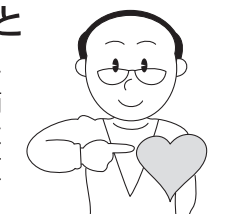
やけど、ケガ、感電の原因になります。お子様が調理される際は、そばに大人の方が付いてあげてください。



禁止

心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意すること

心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。



注意

調理以外の目的に使用しないこと

過熱・異常動作をする可能性があります。
※火災や、やけどの原因になります。



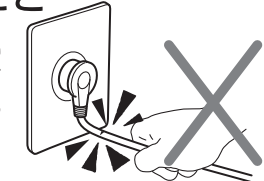
禁止



注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

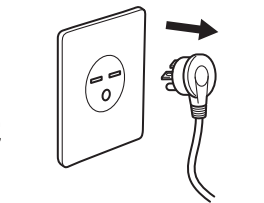
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

使用時以外はコンセントから電源プラグを抜いておくこと

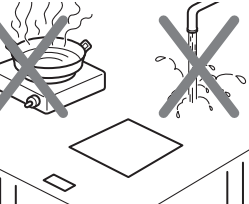
ケガや、やけどの原因になります。電源コードの劣化による、感電や漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

火気の近くや、水のかかる所では使用しないこと

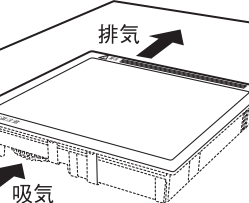
感電や漏電火災の原因になります。本体内部の温度が上がり過ぎるため、故障の原因になります。



禁止

吸気口・排気口をふさがないこと

本体内部の温度が上がりすぎ、火災の原因になります。
※壁や、障害物から10cm以上離してください。

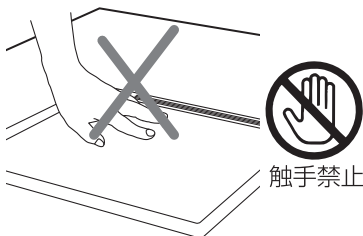


禁止

⚠ 注意

使用後しばらくはトッププレートに触れないこと

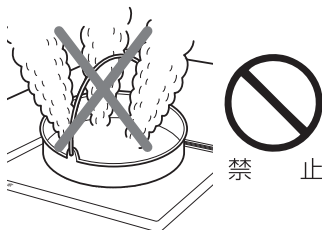
トッププレートが鍋の熱で熱くなっているので、やけどをします。



触手禁止

空焚きしたり加熱しすぎないこと

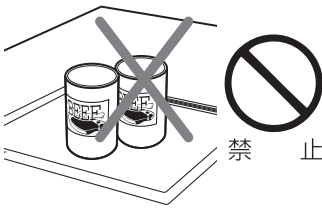
調理物が発火したり、やけどの原因になります。鍋の破損・本体の故障原因になります。鍋の中に水を入れず、レトルト食品やアルミパック食品などを加熱しないでください。※フライパンの予熱などは長く加熱しないでください。



禁止

缶詰やアルミ箔など、鍋以外のものはのせないこと

缶詰やアルミパックのような密封してあるものは破裂するためケガの原因になります。アルミ箔は、赤熱するためやけどの原因になります。



禁止

調理中はそばを離れないこと

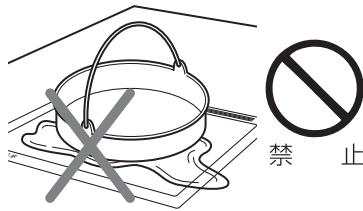
※離れる時は、電源を切ってから離れてください。



禁止

鍋底やトッププレートがぬれた状態で加熱しないこと

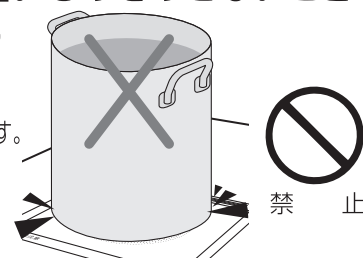
鍋底から湯気が吹き出すことにより、やけどのおそれがあります。



禁止

トッププレートに重いものをのせないこと

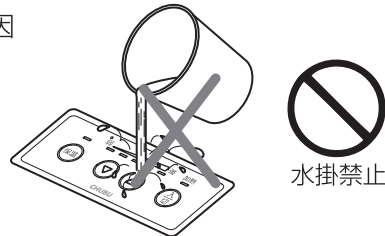
トッププレートにひび割れや反りができ、故障することがあります。使用することができる重さは、内容物を含め約10kgまでです。



禁止

コントローラに水をかけないこと

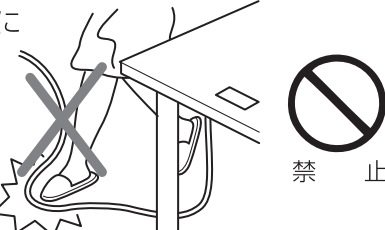
感電やショートの原因になります。



水掛禁止

電源コードを引っかけないこと

けがや、故障の原因になります。



禁止

電磁調理用の鍋以外は使用しないこと

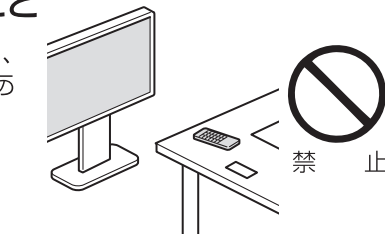
電磁調理用の鍋以外の磁石に吸い付くもの（缶類、ナイフ、スプーンなど）を加熱すると、火傷等の危険があります。本書5ページに示す電磁調理用の鍋を使用してください。



禁止

テレビやラジオ、リモコン付き電機製品から3m以上離すこと

電機製品の誤動作や、雑音ができるおそれがあります。



禁止

磁気製品を近づけないこと

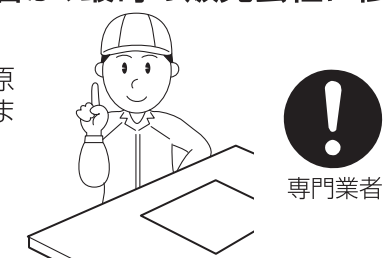
磁気製品（キャッシュカード、テレホンカード、自動改札用定期、フロッピーディスク、携帯電話）などをトッププレートにのせると、記録されたデータを損なうことがあります。



禁止

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



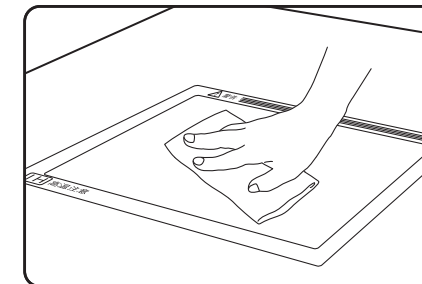
専門業者

お手入れ

■お手入れされる際に、お読みください。

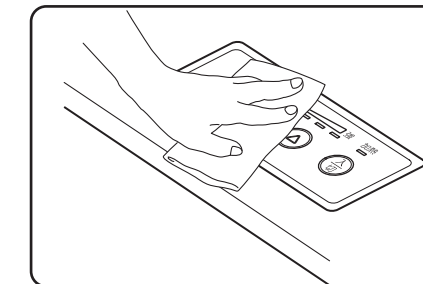
- 使用されるたびにお手入れをしてください。
- お手入れする際は、必ず電源プラグを抜いてください。
- 内部に水・洗剤等を入れないようにしてください。事故・故障の原因になります。
- フィルターの清掃を1週間に1回行ってください。（DR18SAAのみ対象）

●トッププレートの掃除



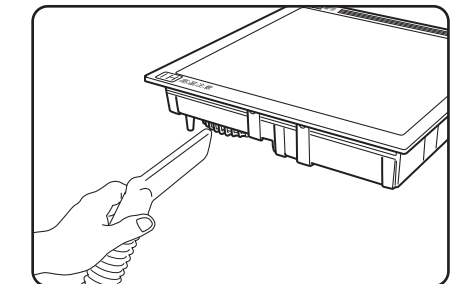
トッププレート上が汚れた場合は、固くしぼった濡れふきんで拭き取ってください。汚れがひどい時は、みがき粉かクレンザーを使い拭いた後、固くしぼった濡れふきんでしっかりと拭き取ってください。

●コントローラの洗浄



コントローラが汚れた場合は、固くしぼった濡れふきんで拭き取ってください。汚れがひどい時は、台所用中性洗剤で汚れを落とし、固くしぼった濡れふきんで洗剤をきれいに拭き取ってください。

●吸気・排気口の洗浄



使用前に、ふきんや掃除機でほこりなどを拭き取ってください。

お願い

- つぎのようなものは使わないでください。ベンジン・シンナー・ガソリン・漂白剤・酸類・たわし・金属たわし。
- 使用環境が悪い場合や、使用頻度が多い場合は、お手入れの回数を増やしてください。（フィルターが目詰まりした状態で運転すると、製品が壊れる原因となります。）

●長年ご使用の厨房・調理機器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- いつもより製品が熱くなる。
- こげ臭い“におい”がする。
- 電源コードを曲げると通電しないことがある。
- 触れるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

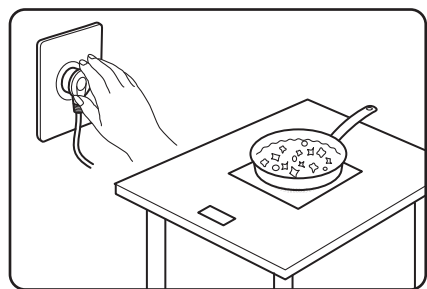
ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグを抜く、またはブレーカーを切り、販売会社に点検・修理をご相談ください。

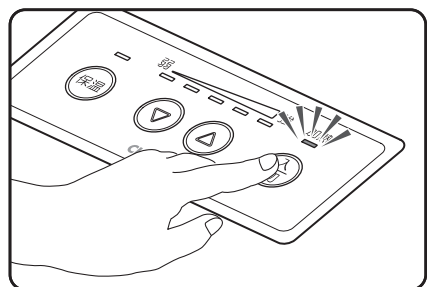
ご使用方法

■運転の手順（火加減）

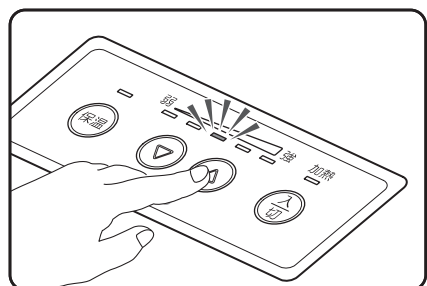
●調理の際にお読みください。



- ①電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- ②鍋に調理物を入れ、トッププレートの中央にのせてください。



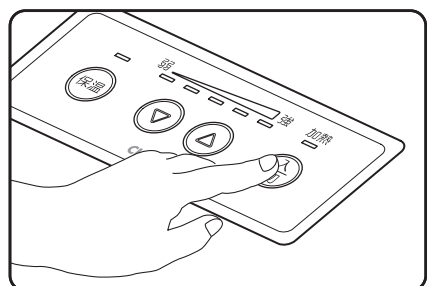
- 入/切ボタンを押してください。
火力最大で加熱を開始します。



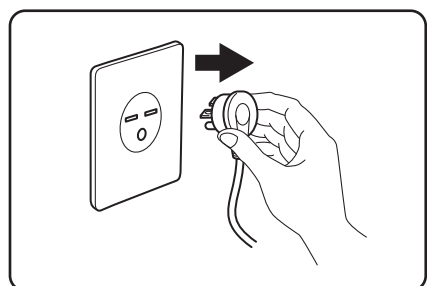
- △・▽ボタンでお好みの火力に調節してください。
あるいは、保温ボタンを押して保温を選択してください。

●保温ボタンを押すと保温ランプが点灯し、約 80℃に保温されます。

調理時に、鍋の種類により「ジー」という音になることがあります。故障ではありません。



- 調理を終了するには入/切ボタンを押してください。



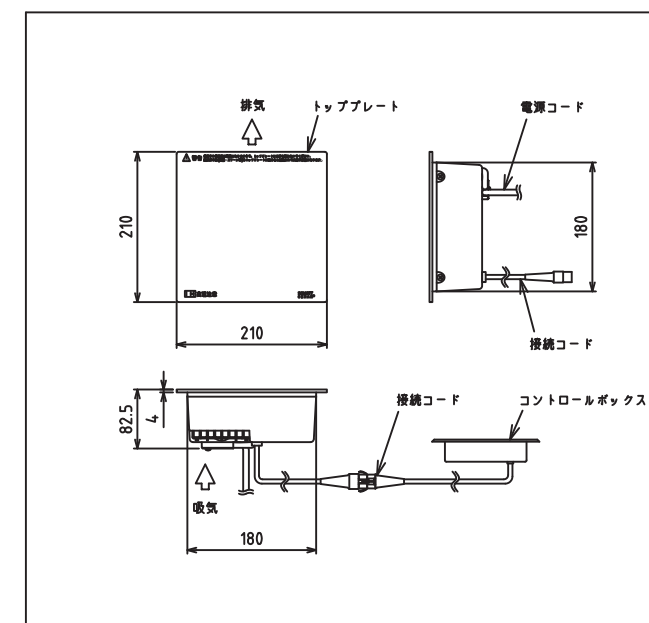
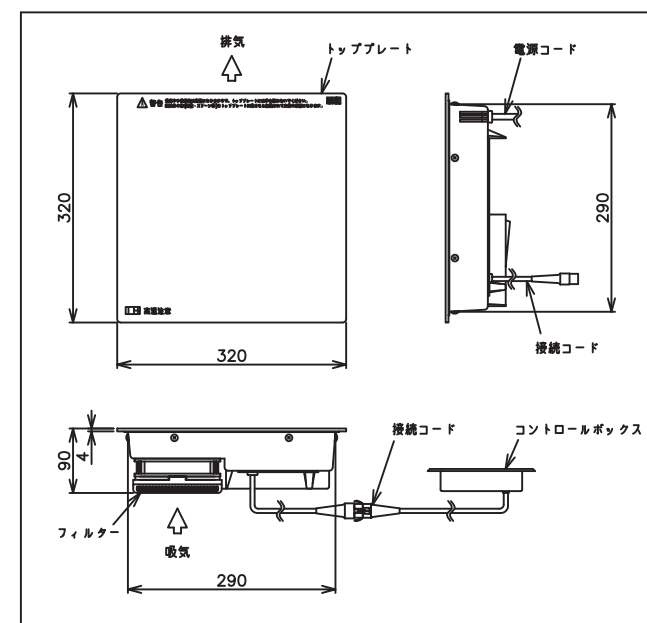
- 使用後は、電源プラグを抜いてください。

各部のなまえ

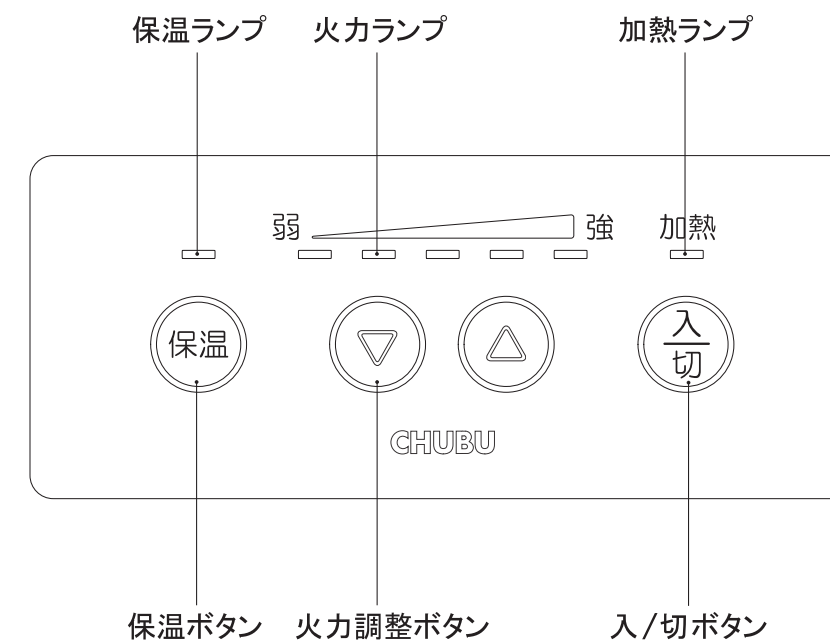
■本体

●DR18SAA

●DR-1BMA / DR09SAA



■操作部（コントローラ）

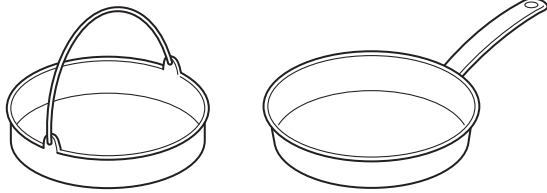
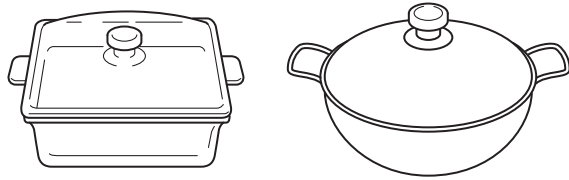
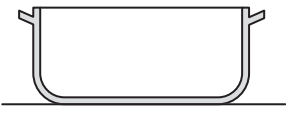
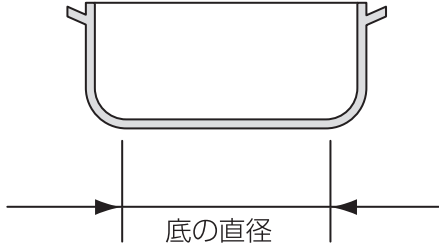
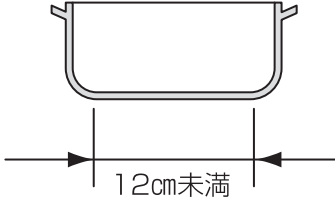


保温ボタン 火力調整ボタン 入/切ボタン

鍋（使える鍋・使えない鍋）

ご使用上の注意

鍋（使える鍋・使えない鍋）

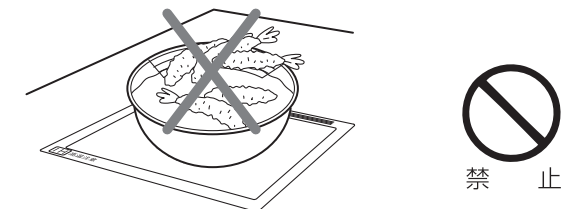
使えます！		使えません！
●鉄・鉄铸件・鉄ホーロー・ステンレス・多層鋼鍋  ・鍋底の厚みが1.5mm以上のものは、使えない場合があります。 ・多層鋼鍋は、アルミを間にはさんだものは使えない場合があります。	材質	●耐熱ガラス・陶磁器（土鍋）・アルミ・銅等、鍋底に磁石がつかない鍋  ・市販の土鍋は、「IH用」と表示されてたとしても使用しないでください。（故障や、火力が弱く調理できない場合があります。） ・鍋底にステンレス板がはりつけられている鍋は、使用できない場合があります
●鍋底が平らかつ、トッププレートに密着している。 	底の形	●鍋底が平らではなく、トッププレートに密着していない。  丸い 反りがある 脚がある ・鍋底が丸い。 ・約5mm以上の脚つきやそりのある鍋。
●直径12 cm 以上の鍋。  底の直径 ・適用鍋寸法は、各ビルトインIHコンロのトッププレート寸法の範囲内にしてください。（詳しくは、外形図を参照してください。）	底の直径	●底の直径が約12cm未満の鍋 ●トッププレートに入らない鉄板  12cm未満

- 使える鍋であっても、材質や鍋底の厚み・直径・形状によって火力が弱くなります。
- フライパンなどを予熱するとき、鍋底の厚さにより数分で赤熱することがあります。
- フライパンなどの空焚きに近い状態で使用の際は、保護装置が働き停止する場合があります。

警告

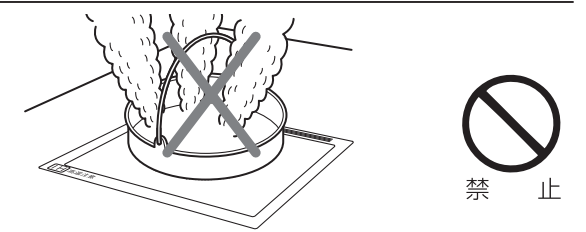
あげもの調理に使用しないこと

あげものを調理するためのものではありません。
※あげものを調理すると油が高温になりすぎ、発火する恐れがあります。
オイルミストが多く発生する環境での使用は避けること



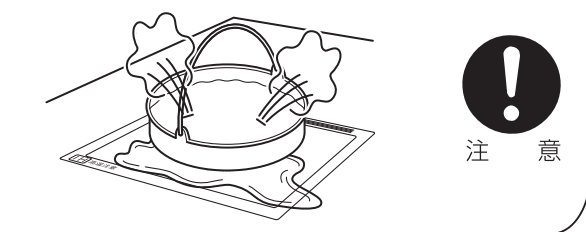
空の鍋をのせて加熱しないこと

空の鍋をのせ、火力を最高で加熱すると鍋が高温になるためやけどの原因になります。
※ガラスプレートが高温になると、異常過熱を防ぐため断続的に加熱するか、もしくは音が鳴り停止します。



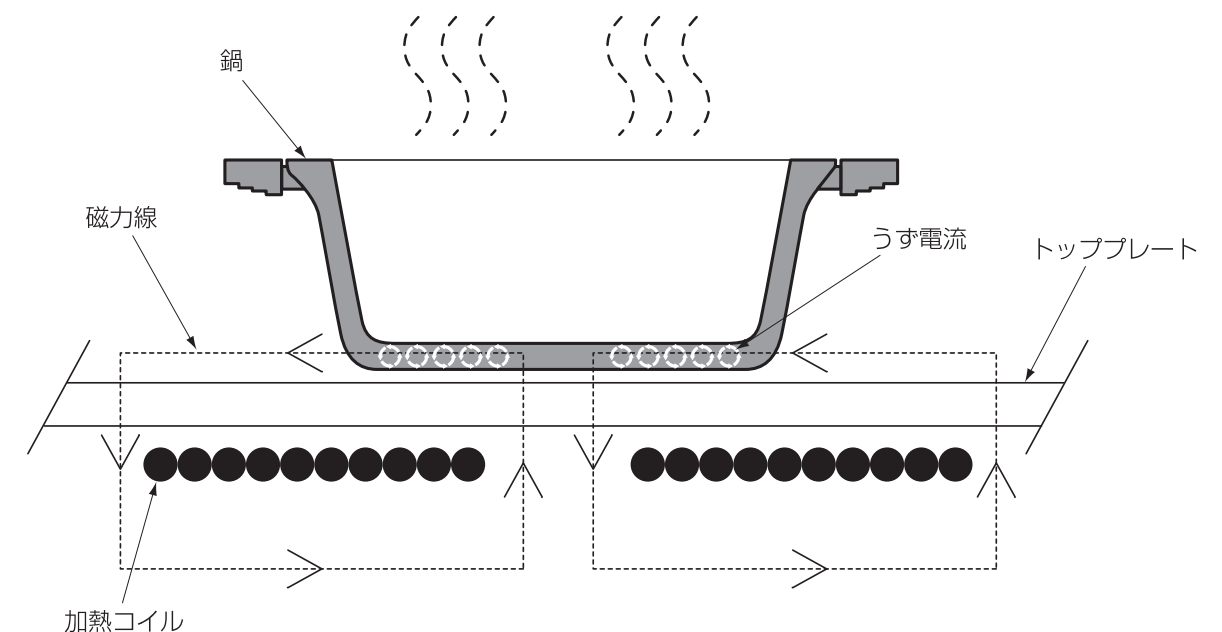
液体加熱時は急激な沸騰に注意すること

水・だし汁・みそ汁・牛乳・カレーなどの液体を加熱した際、急激な沸騰（突沸）が起こり、液体が噴き出す、飛び散る、鍋が跳ねるといった現象が起こる可能性があるため、火傷、ケガ、トッププレート破損などの原因になります。
液体を加熱する際は、かき混ぜながらご使用ください。



I H（誘導加熱）とは

- 加熱コイルにより発生した磁力線が、鉄製の鍋を通ると鍋底にうず電流が発生します。このうず電流が鍋そのものを発熱させ調理物を加熱します。



ご使用上の注意